

キラリ熱中時間

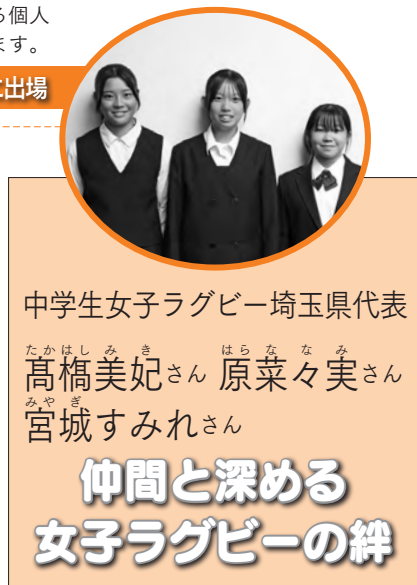
深谷市にゆかりがあり、市内外で活躍する個人や団体を紹介します。

埼玉県代表として第15回全国中学生ラグビー大会に出場

家族の影響で、5・6歳から自身もラグビーを始めたという、高橋さん、原さん、宮城さんは、市内の別々の中学校に通う3人で、さまざまなラグビーの試合で県の代表選手に選ばれ、活躍しています。第15回全国中学生ラグビー大会にも、埼玉県代表選手として、新潟県・栃木県との合同チームで出場しました。

今回の代表選手に選ばれた感想を、「県の代表に選出されてチーム専用のユニフォームを受け取ったときは、『今回も頑張るぞ!』と気合いが入りました。」と話してくれました。

そのユニフォームで挑んだ全国大会を、『練習でやってきたことが出せた。』『負けてしまった試合の反省点を話し合い、勝利



につなげることができて良かった。』『やりたかったポジションで出場できてうれしかった。』と振り返る3人の言葉は、ラグビーを楽しむ真剣に取り組む気持ちであふれています。

女子ラグビーの魅力を知ると、「女子ラグビーの試合は、7人制と12人制があります。それぞれに特徴があって、両方を経験できるのは楽しいよね。」「他校や他県に友人が増えることも魅力だな。」と、お互いの話にうなずきながら、笑顔で語ってくれました。

また次に出場が決定している試合に向けて、『全国優勝を目指したい!』と練習に汗を流す3人の絆は、1試合1試合を共にしながら深まっています。



▲11月10日に福島県で行われた『第44回東日本中学生ラグビー大会』女子の部では3位を収めました

ふっかちゃんの日常から
深谷が見えてくる

ふっか 散歩

136 世界遺産『富岡製糸場と絹産業遺産群』

今年は、先月紹介した富岡製糸場と、ほかの3カ所を合わせた『富岡製糸場と絹産業遺産群』が、世界遺産に登録されて10周年の節目の年。それぞれどんな所か、見学しにきたよ。

まずは、深谷の隣、伊勢崎市の『田島弥平旧宅』へ。幕末に、田島弥平さんが考えた、蚕を上手に育てるための住宅なんだって!



▲養蚕法の研究と指導を行っていた場所で、全国の実習生がここで学んだよ。



▲風穴は天然の冷蔵庫! 蚕の卵を貯蔵して、たくさん養蚕ができるようになったよ。



▲ここで質の良い生糸をたくさん作る技術が開発されて、世界に広がったよ。

渋沢栄一翁と世界遺産

栄一さんは、富岡製糸場の設立に関わったほかに、田島弥平さんなどが運営する日本初の蚕種製造・販売会社『島村勸業会社』の設立や、蚕の卵の輸出に協力していたよ。

また、栄一さんが推薦したことをきっかけに、田島家が、明治初期の皇室の『宮中御養蚕』ではお世話役を務めていたんだよ!

ふっかちゃんの
つ・ぶ・や・き

今年も1年間たくさん応援してくれてありがとう☆
来年もふっかちゃんをよろしくおねがいします(Y(=ω=)Y



人権擁護委員

～あなたの街の相談パートナー～

令和6年度法務省人権擁護機関 人権啓発キャッチコピー

『誰か』のこと じゃない。

☎ 人権政策課 (☎ 574 - 6643)

人権って何?

人権とは、人間が生まれながらにして持っている、人間として幸せに生きていくための人間の権利です。

しかし、依然として社会にはさまざまな人権課題が存在しています。子どものいじめや体罰、女性や高齢者、障害者への差別や虐待、また近年ではインターネットによる人権侵害や性的指向・性自認を理由とした偏見や差別などです。このような人権課題は、決して自分以外の『誰か』のこと、自分には関係ないことではありません。

現在、市には、法務大臣の委嘱を受けたボランティアである人権擁護委員が、13人います。人権擁護委員は、人権問題の解消のため、人権相談をはじめ、小・中学校での人権教室やイベントなどを通して、啓発活動に日々取り組んでいます。



▲人権教室の様子

人権擁護委員に対する法務大臣表彰

人権擁護委員としての永年の功績が顕著であるとして、吉澤正則氏が10月21日に法務大臣より表彰されました。おめでとうございます。

人権擁護委員による『よろず人権相談』
とき 毎月2回、原則10日と25日の午前
ところ 市役所本庁舎2階（予約優先）
※月により変更する場合がありますので
問い合わせ先へご確認ください



人権イメージキャラクター
人KENまもる君 人KENあゆみちゃん

心の広場

豊里小学校2年(現3年)
荒木 陸 さん



みんな 大すき

ぼくには、弟とおねえちゃんがいるので、ぼくは三人きょうだいです。ぼくたちは、いつも元気いっぱいです。だから、たまにけんかをします。

けんかのげんいんは、いろいろです。弟はぼくが学校のじゅんぴをしているときに、時々じゃまをしてくるので、けんかになります。弟は、すぐないておこります。それから、おねえちゃんとはテレビのチャンネルのとりっこで、けんかになります。でも、けんかをしてもすぐになかなおりをします。だけど、二人はぼくにやさしいときもたくさんあります。おねえちゃんとは、べんきょうをおしえ合ったり、おかしを分け合ったりします。弟は、「あそんで。」と、にこにこして言ってくれます。

お父さん、お母さんも、ぼくにやさしくしてくれます。まちが

ったことをしたときにはおこるけど、ほめてくれることもたくさんしてくれます。

ぼくは、学校也大すきです。先生や友だちが大すきです。一年生もかわいいです。学校でみんなといるときは、いつもたのしいです。近じよの人のことも大すきです。

みんな、みんな大すきだけど、けんかをしているときは、とてもいやな気持ちになります。みんなときょう力して何かをしたり、やさしい言ばで話したりしているときに、とてもいい気持ちです。

これからぼくは、かぞく、先生や友だち、近じよの人たちみんな大すきでいられるようにしたいです。ぼくも、みんなに大すきになってもらえるようにしたいです。

